

墨田区議会 Liberal Democratic Party

自由民主党だより



■発行/墨田区議会自由民主党 (墨田区吾妻橋1-23-20)
■発行責任者/樋口敏郎 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>

平成26年度墨田区一般会計予算 付帯決議を付けて可決

区議会の最大の役割のひとつが、区民の皆様からお預かりした税金の使い道を決める予算の審議です。

区議会では区長から提出された予算案を集中的に審議するため、予算特別委員会を設置しました。自民党からは出羽邦夫委員長、中沢えみり副委員長、西原文隆委員、田中邦友委員、樋口敏郎委員、山本亨委員が選出され、9日間の集中審議にあたりました。

審議の中では、財政問題から子育て支援、高齢者施策に至るまで幅広い分野について、区民の皆様の視点に立っていないすみだ環境ふれあい館及び、②財政上の負担が懸念されるすみだ北斎美術館について、強い懸念を示す付帯決議(3面記載)を付けて賛成しました。以下は、自民党が議論し、区長提出の予算案について見解を述べた「意見開陳」の要旨です。



予算特別委員会での
沖山仁議長
委員会を運営する
出羽邦夫委員長



意見開陳をする山本亨委員

意見開陳(要旨)

1. 財政について

- 特別区税、特別区交付金の増加が見込まれるが、財政需要の増大に対して、依然として厳しい歳入状況である。
- 本来実施すべき基本計画事業の繰延べや縮小が数多く見受けられるため、早急に改善すべきである。
- 歳入環境改善への最大の課題である、国民健康保険料滞納繰越分の収納率向上へ、決意をもって力強い取り組みを求める。
- 基金残高や区債残高の状況について注視していく。

2. 主要政策課題について

- 旧両国公会堂については観光にも資する施設として活用すべきである。
- 大学誘致は、誘致交渉が具体化しつつある状況は歓迎するが、最後まで慎重に誘致決定に向けて努力されたい。併せて中小企業センター、文花子育てひろば等の方向性についても検討すべきである。

3. 防災対策について

- 防火・耐震化改修促進事業については、政策効果を高めるため、補助限度額の引上げやエリアの拡大について、早急な具体案の検討と実施を強く求める。
- すみだ環境ふれあい館及びすみだ北斎美術館については、3面の付帯決議の通り、厳しく指摘した。

4. 子育て支援・教育政策について

- 保育所持機児童がさらに増加傾向にある。最優先の課題として、施設整備や支援策の拡充等、今年度中に出来得るすべての方策を尽くし、平成27年4月に待機児童0を達成することを求める。



問題点を指摘する
西原文隆委員

5. 高齢者・障害者施策について

- 特別養護老人ホームの800名弱の待機者解消については、計画された2施設の整備に全力で取り組まれない。
- 障害者施策は、工賃の見直し等を含む就労支援強化の他、各施策、事業を着実に推進するよう求める。

6. 産業・観光政策について

- 区長が目指す国際観光都市に向けて結果を出すため、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての対応も含めて早期に取り組むべきだ。
- 新産業振興マスタープランを積極的に活用して、商店街・新しいものづくり・まちづくり、雇用や人材育成、30周年を迎える3M運動等を連係させて、産業と観光の融合を図り、新しい墨田の産業振興を確立してほしい。



鋭く質問する
田中邦友委員



質問する中沢えみり副委員長

第一回定例本会議での質疑一覧

「代表質問」



墨田区議会議員
樋口 敏郎

「質問項目一覧」

1. 平成26年度 予算編成について
 - ① マニフェストの進捗に 関する総括について
2. 防災対策について
 - ① 平成26年度予算における 新たな取組について
 - ② 平成26年度以降の 個人住民税均等割増税分の 活用について
3. 観光振興対策について
 - ① 観光振興プラン改定に 当たっての基本的な考え方、 今後の方向性について
 - ② 来年度の取組について
 - ③ 国際観光都市づくり 庁内推進本部会議と 総合的な調整機能について
 - ④ オリンピック東京開催に 向けた横断的な 検討組織について
4. 行財政改革について
 - ① 予算の見積り方針の

依命通達に掲げた、物件費の見直しについて

- ② 施設の維持管理経費圧縮の取組について
- ③ 公共施設マネジメント実行計画の策定と今後の取組について

5. すみだ北斎美術館について

- ① 建設経費の圧縮努力および増加理由について
- ② この時期に建設しなければならぬ理由について
- ③ 一般財源の負担を軽減するための方策について
- ④ 北斎美術館の 具体的な活用と、 経済波及効果について
- ⑤ 管理運営経費の圧縮および 区民への利益還元について
- ⑥ これからの取組に対する 考え方について

6. 高齢者の見守りについて

7. いじめや問題行動への 対応について

1. 平成26年度予算編成について

① マニフェストの進捗に関する 総括について

問 平成26年度の予算は、山崎区長にとって今任期最後の予算となる。これまでの3年間の実績を含めて、どのように総括されているのか。

答 目標の達成に向けて取り組み、概ね順調に進捗しているものと認識している。しかし、十分と言えないものもある。平成26年度予算では、できる限り着実な事業進捗を図り、マニフェストの実現に引き続き全力を傾注していく。

2. 防災対策について

① 平成26年度予算における 新たな取組について

問 来年度予算においては、これまでの施策に加えて、新たにどのような取組を計画されているのか。

答 防災まちづくりのハード面の対策として、平成24年度から開始した「防火・耐震化改修促進事業」を一層促進するため、対象地域の拡大などを検討する。ソフト面では、これまでも議会から大変強い要望があった、女性に配慮した防災対策を充実する。

【新年度から実施される主な施策】

- 「女性の防災対策懇談会」を設置
- 42ヶ所の全避難所に 女性用トイレを配備
- 防災情報アプリの配信
- 社会的弱者が利用している施設に 都条例に基づき3日分の 食糧等の備蓄

② 個人住民税均等割 増税分の活用について

問 復興増税として、平成26年度から35年度までの10年間、区民税の均等割が500円増税となる。この財源を26年度予算においては、どのような事業に活用することとしているのか。

答 「区民への防災情報の提供収集」と「災害時対応施設の整備」という施策に充当していきたい。

3. 観光振興対策について

観光振興プラン改定に 当たっての基本的な考え方、 今後の方向性について

問 基本的な考え方、今後の方向性について伺う。

答 現時点では区内回遊が十分進んでいるとは言えない。こうした現状や、現在のプランの評価、来年度実施する観光消費額調査や外国人観光客の実態・ニーズ調査の結果等を踏まえ、ハード面の整備や産業振興施策などを重層的に連動させながら、まち歩き観光による区内回遊促進策の再構築、ブラッシュアップを図りたい。

6. 高齢者の見守りについて

問 2月、孤独死事件が相次いで2件発生した。本区では、23年度、区内8箇所の高齢者みまもり相談室の整備を完了したが、「孤独死ゼロ」に向け、改めて区長の意見を伺う。

答 本区において高齢者に関わる痛ましい事象が相次いで発生した。より一層、町会・自治会、民生委員、老人クラブ等の方々と協力し合い、地域における見守り意識の醸成を図る必要がある。今後、このような事象が二度と起きないためにも、高齢者一人ひとりの状況をより正確に把握していくことが大切なので、引き続き高齢者の実態把握に努めるとともに、「地域の見守り力」を高める取組に力を注いでいきたい。

7. いじめや問題行動への 対応について

問 学校関係者などで構成する「いじめに関する有識者会議」立ち上げや、いじめ防止条例の制定など、今後、いじめの防止に向けてどのように取り組もうとしているのか。

答 現在、いじめ問題への対応については、「墨田区いじめ問題に関する有識者会議」からの提言に基づき、学校・家庭・地域・教育委員会が連携協力して、いじめ防止・根絶に向けた重層的な取組を進めている。いじめ防止条例については、東京都の動向も注視しながら、具体的な検討を進めている。今後も、現在の学校を中心としたいじめ防止の取組に加え、家庭・地域はもとより、関係機関との連携・協力をより強めた取組を進めたい。



第一回定例会・特別委員会の様子



子ども・子育て新制度への取組について報告がありました。



第一回定例会において、平成27年度から開始される子ども・子育て支援新制度へのこれまでの墨田区の取組と、今後のスケジュールについての報告がありました。

子ども・子育て支援新制度は、子育ての責任の第一は保護者にあるという基本的な考えの下で、基礎自治体の実施主体となって幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援の質・量ともに充実を目指すものです。

墨田区では、昨年度より「墨田区子ども・子育て会議」を設置したり、「墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査」を行ったりするなど、新制度への準備を進めてきました。

平成26年度は、組織改正を行い、子ども課と子育て支援課を設置し、保育園に加えて、新たに私立幼稚園の手続きが同じ窓口で行えるようになりました。同時に、区立幼稚園の案内や、子育て相談も行っています。

今後も新制度のスタートに合わせて、子育て支援の充実を目指していきます。

墨田区公共施設マネジメント実行計画の素案が示されました。



墨田区では、公共施設の約4割が築後30年を経過しており、今後一斉に老朽化等による大規模改修や建替えの時期を迎えることとなります。しかし、既存の施設を全て維持し、多額の費用を必要とする大規模改修等を行っていくことは財政上極めて困難です。

そのため、区民ニーズに対応しつつ、公共施設の運営方法の見直しや機能転換、複合化、施設総量の圧縮を行う、公共施設マネジメントの取組を実践することとしました。

昨年、施設の老朽化の状況や配置、利用状況などの実態を把握、評価し、課題を明らかにするために「公共施設白書」を作成しました。この白書により明らかになった課題を踏まえ、公共施設マネジメントを計画的に推進するために、「公共施設マネジメント実行計画」を策定します。



▲ 質問に立つ瀧澤良仁議員

▲ 産業都市委員会での加藤拓議員

▲ 質問する福田はるみ議員

▲ 企画総務委員会での佐藤篤議員

1. すみだ環境ふれあい館について

(1) 議会報告について

すみだ環境ふれあい館については、3階、4階の利用方法が定まらない中で、ランニングコストの計算もなく予算を提案してくることは、公共施設マネジメントという概念からは大きくかい離し、厳しく糾弾されるべきことである。

その観点から、すみだ環境ふれあい館については、そもそも審議に値するものではなく、改めて、新計画の下で、区議会に報告を求めます。

(2) 執行凍結について

上記の点について議会で理解を得られるまで、区長において執行凍結を求めます。

2. すみだ北斎美術館について

(1) 寄付金について

そもそもすみだ北斎美術館の建設には、区民の中にもまた区議会の中にも賛否両論があり、財政負担への影響を最小限にするために私たちは寄付金を集めることを求めた。このことを区長は重く受け止めるべきである。

この観点から、区長が区議会で言明した北斎美術館建設にあたっての5億円の寄付金を開館までに行うよう求める。同時にこの5億円の寄付金について、今定例会中に、区長は歳入補正し補正予算案を提出することを求める。

また、寄付金の収納状況について、①寄付金の募集及び応募件数、②実際の収納状況について、平成26年度から開館まで、各月別に各定例会ごとに区議会に報告することを求める。

寄付金5億円の根拠は、未だ漠たるものとなっており、苦渋の決断で予算案には賛成するものの、平成26年第二回定例会までに、①寄付金募集の主体となる寄付金募集委員会の構成員や、②寄付金募集にあたっての月別目標額、③募集対象者等を明記した、事業計画を区議会に提出することを求める。



(2) 運営計画について

年間入場者数や経済波及効果の推計となる根拠が極めて漠たるものとなっている。平成26年度中に、付帯決議に賛成した各党派と相談の上、管理運営の方法や開館後50年先を踏まえた維持改修計画を含めたより精緻化された運営計画を提出することを求める。この提出にあたっては、その状況報告を随時、各定例会へ行うことを求める。

併せて、今予算特別委員会の中で区長側から指定管理料1億円以内という数字が出されたが、そもそも管理運営についての方向性は区議会と一致をみていないことを確認する。管理運営がいずれの方向としても、年間運営費は1億円という指標を遵守することを求める。

これらを踏まえ、運営に当たってはこの運営費及び年間維持費を入館料収入や寄付金で集めることを求め、区費負担の大幅な軽減を行うことを求める。

(3) 北斎館を中心としたまちづくり計画について

本来北斎館は、区民の理解を得て、区民が求める形でつくられるべき施設である。残念ながら、このことは達成されておらず、区民からは懸念の声があることも事実である。これはひとえに、区長の責任が問われなければならない。

北斎館はその建設自体が目的ではなく、①地域経済を含めた区全体への波及効果や、②両国観光まちづくりランドデザインを含めた両国から錦糸町に至るエリアのまちづくり計画を踏まえた計画とすべきである。これについては、①経済波及効果（北斎作品の著作権に関する区内業者への貸出状況及びこれを商品化したことによる売上高の把握を含む）や②まちづくりの具体的なプランを、まず平成26年第二回定例会に求め、必要に応じて、定例会ごとに議会報告を求めていく。

以上、決議する。

TOPICS

トピックス

大阪府下自治体に学ぶため調査しました

- ①大阪市
【内容】道路法改正に伴い、公道にオープンカフェや広告、非常用電源装置等を置くことができるという政策
- ②箕面市
【内容】(1) 学校や町会が名簿を作る際の基準についての条例をつくることで、個人情報保護に関する過敏な反応を取り除く (2) 子どもに関する手続の一元化と幼稚園保育園行政の一元化
- ③堺市
【内容】本区が進めている旧西吾嬬小学校・旧曳舟中学校跡地への大学誘致について、広さ、定員、土地保有形態が酷似している堺市・関西大学の事例



NEWS

ニュース

本年1月1日付で、無所属・しもむら緑議員が墨田区議会自由民主党に加りました。これに伴い所属議員は14名(議員定数32名)となりました。今後とも区議会最大会派として、区政にまい進して参ります。



しもむら緑議員が自民党に加りました



瀧澤 良仁

- 区民文教委員会委員
- 観光対策特別委員会委員長

☒ 墨田 5-33-4 ☎ 3611-4003

すみだ自民党 議員紹介

墨田区議会自由民主党の所属議員です。お近くの議員にご相談ください。



西原 文隆

- 墨田区監査委員
- 企画総務委員会委員
- 観光対策特別委員会委員

☒ 押上 1-25-5 ☎ 3622-9570



坂下 修

- 企画総務委員会委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☒ 向島 3-18-10 ☎ 3625-1810



出羽 邦夫

- 産業都市委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☒ 八広 4-11-19 ☎ 3616-5834



田中 邦友

- 区民文教委員会委員長
- 行財政改革等特別委員会委員

☒ 八広 1-39-17 ☎ 3616-7014

行動します! We Take ACTION!!



沖山 仁

- 墨田区議会議長
- 福祉保健委員会委員
- 観光対策特別委員会委員

☒ 京島 1-39-1-918 ☎ 3617-6558



林 恒雄

- 福祉保健委員会副委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☒ 江東橋 1-8-7 ☎ 3631-1934



樋口 敏郎

- 幹事長・議会運営委員会委員長
- 企画総務委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☒ 八広 3-6-3 ☎ 3617-4129



山本 亨

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 産業都市委員会委員長
- 観光対策特別委員会委員

☒ 向島 5-42-3 ☎ 3622-0010



福田 はるみ

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 区民文教委員会委員
- 観光対策特別委員会委員

☒ 業平 4-5-16 ☎ 3625-8139



中沢 えみり

- 福祉保健委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☒ 堤通 1-5-9 ☎ 080-5008-9930



加藤 拓

- 産業都市委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☒ 緑 1-12-13-301 ☎ 050-1334-9640



佐藤 篤

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 企画総務委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☒ 京島 3-18-4 ☎ 090-8567-8293



しもむら 緑

- 福祉保健委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☒ 亀沢 4-22-8-608 ☎ 6658-4595

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>

墨田区議会自由民主党

お気軽にご意見をお寄せください。